

川崎市民のための  
生涯学習情報誌

# Stage Up

ステージ・アップ

通巻 No.179

2011年4月1日 発行

(隔月発行)

ホームページからも

ご覧いただけます!



「武蔵小杉」 とどろきフォトサークル 木下敏美

## 誌上ギャラリー

武蔵小杉駅周辺地区は、平成17年3月に策定した新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」において、川崎駅周辺、新百合ヶ丘駅周辺地区とともに、「民間活力を活かした魅力ある広域的な都市拠点」として位置付けられました。その後、民間事業者を中心としたまちづくりが着々と進められており、当初の予定では、平成23年、つまり今年中に、駅周辺に超高層ビルが建ち、「川崎の新しい顔」が完成することになっています。  
撮影場所：武蔵小杉付近の歩道橋

## もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集  
川崎市生涯学習財団 “設立20年”
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット
- 8 リニューアルのお知らせ



発行・(財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044 (733) 5560(代)/FAX 044 (739) 0085

<http://www.kpal.or.jp/>

ステージ・アップ TEL 044 (733) 5811

E-メール: [stage-up@kpal.or.jp](mailto:stage-up@kpal.or.jp)

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するため諸事業を推進しています。

## まち・ひと・多面体

### 子育て、自分育ちのために!!

～ “おやコミュニケーション” の活動から～



“おやコミュニケーション” というグループが主催している講座があると聞いて、麻生市民館を訪ねました。講座名は『子どもとともに跳び立つ思春期』、文字通り思春期の子どもがいる親と、このテーマに関心を持つ人たちのための学習会です。

“おやコミュニケーション” は以前地元の中学校などでPTA役員として、今は少年補導員としても活動している平野祐子さんが代表を務める母親たちで組織されたグループ。市民館や精神保健福祉センター、こども支援室等の支援を受けた市民自主学級としての取り組みです。

年間10講座の7回目のタイトルは「若者と語り合おう!②」、以前、平野さんがKS(川崎市・専修大学)アカデミーに参加したことが縁となってつながりのできた専修大学の学生さん5人が招かれ、親子の関係などについて体験的な話をしました。毎回この講座に参加している十数人の母親やお孫さんのいる男性、市民館の職員等が加わり、車座になって率直で熱心な話し合いが行われていました。

講座の8回目には麻生警察署少年係の刑事さんを招き「非行のサインを見つけた時に」と題して、最近の少年非行の問題や親の心得などについて学びました。



9回目と10回目は「子どもの自立を考えよう」がテーマ。会員の一人が講師役になって思春期の特性について解説し、参加者が体験談を交えながら熱心に意見を交換していました。子育ては生涯にわたる大切な課題。そして、子育てを通して親自身が育つ作業でもあるようです。

この勉強会がスタートして今年で3年目。子育てアドバイザーなどの資格を持つ平野さんは、「いつか津田山にある“川崎市子ども夢パーク”のような子どもの居場所を麻生地域にも作りたい」と、熱い思いを語っていました。

■問合せ先 平野祐子 ☎090-4383-9641

## ゴスペルと共に

### 多摩ラブフェロシップ・ゴスペルクワイア

この会は平成12年、多摩市民館の成人学級を母体にスタートしました。受講者の有志が自主グループを作って3年後、登戸エクレスキリスト教会の公式ゴスペルクワイアとして活動を始めました。とは言え、多くのメンバーは宗教・宗派に関わりなく参加しているとのことです。

「ゴスペルってなんかカッコイイと思ったので…」 「生田緑地のサマーフェスタで聴いて、いいなあと思ったから」など、活動に加わった人たちの動機はシンプルなもの。「音楽の専門知識がなくても参加できるから、気が楽だった」という声も聞かれました。

ゴスペルは口伝えで覚えていく音楽です。ピアノ伴奏に合わせ、歌詞カードを見ながら指揮者(ディレクター)のリードで歌います。

初めて参加した私でも、繰り返し歌っているうちにリズムに乗って口ずさむこと



ができました。

体と心が感じとったままに表現するのがゴスペルの真骨頂なのでしょう、「とにかく気持ちが良いんです」

「わけもなく感動して涙ぐんでしまうことがあります」という声が聞かれました。「母の介護をしているのですが、歌っているうちに気持ちがほぐされて、母への想いが深まり、心も癒されてくるのです」と言う人も……。

グループは「地域に根ざしたグループでありたい」と、福祉施設を訪問したり、地域・商店街のイベントなどにも積極的に参加しています。

自分たちが楽しんで歌うことで喜んでくれる人がいる、聞いている人の笑顔やリズムに乗っている様子を目にすることができる……心が通じ合った喜びを感じる瞬間です。「元気をもらっているのは私たちの方かも」そんな感想も聞かれました。

練習に参加させていただいたあと、体が軽くなったような爽やかさ感じました。帰り道、ふと気づいたら、私もゴスペルを口ずさんでいました。

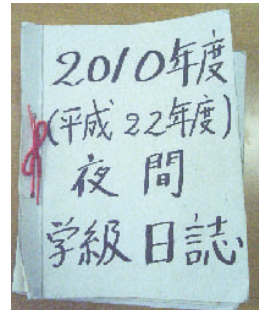
■多摩ラブフェロシップ・ゴスペルクワイア

ホームページアドレス <http://tamalove.com/>



# 夜間学級で学ぶ人たち

## ～それぞれの人生を背負って～



授業前の学級活動風景から

6校ある夜間学級の内のひとつです。通級する生徒の中には高齢の中学生が何人もいらっしゃいました。

### 県内最大規模の夜間学級

西中原中学校夜間学級の在籍生徒数は県内でもっとも多く、24人(平成22年11月現在)。その内17人が外国籍の生徒です。7人いる日本人の中には、86歳を筆頭に70歳以上の方が男女2人ずつ在籍しています。

11月下旬、初めて夜間学級を訪ねました。授業の開始は17時半ということでしたが、教職員は13時過ぎから出勤して準備を進めています。生徒も16時ごろには登校し始め、始業前の時間を自習にあてていました。

### 運命を背負って

この日も70歳以上の方は4人全員が出席。4人は抜群の出席率を誇っており、毎夕早い時間から黙々と学習に励みます。

この日、A子さんは市内の中学生が書いた英語論文の訳読に夢中。英語が大好きだそうです。

戦争激化の中、疎開を明日に控えたA子さん一家は、昭和20年4月15日の川崎大空襲で離散。小学生だったA子さんは弟妹を連れ、一週間歩きとおして栃木県にある父親の故郷にたどり着きました。学校の大好きなA子さんでしたが、通学するところではない生活で小学校の卒業もままならなかったそうです。今ようやく勉強の機会と出会い、猛勉強の最中。息子さんたち家族もお祖母ちゃんのがんばりを応援してくれています。

### 今からでもがんばる

86歳のB男さんは最高齢者。2桁、3桁の加減乗除の計算問題に必死になって取り組んでいます。授業は進度に合わせて少数です。事情があって6歳で親と別れたB男さん。「8歳から74歳まで働き続けたよ」と言っていました。読み書きも計算も学ぶ機会がなかったB男さんでしたが、たまたま病院で夜間学級のお知らせが目にとまり、が



授業は進度に合わせて少数で

## ミリアのパレット

様々な運命を背景に、中学校を卒業できないまま義務教育年齢の15歳を過ぎた人が学ぶ夜間学級が武蔵中原駅近くの西中原中学校にあります。

全国35校、県内に

んばって勉強してみようかなと思立ったのだそうです。少年のころは戸籍すら分からなかったB男さん。この日も大事に持っていた戸籍謄本の写しを見せてくださいました。「この生年月日、大正13年になっているけれど、本当に生まれたのは大正12年だったかもしれないんだ」と言っていました。

### 卒業したらボランティア活動がしたい

ニコニコと笑みを絶やさず、慣れない鉛筆を持って一字一字丁寧に漢字練習をしているC子さんにお話を聞きました。地方から出てきたものの、若いころから仕事や子育てに追われて学校どころではなかったC子さん。数年前、新聞に載っていた夜間学級の記事に目が留まり「これだ!」と思って飛びつきました。



俳句づくりに四苦八苦

ご主人を早く亡くして苦勞したC子さんに、娘たちは「今まで頑張ってきたのだから、好きなことをやったらいい」と理解を示してくれます。この学級に通うには1時間半以上かかりますが、決して休みません。「通学定期で通えるので助かっています」と笑っていました。

### やっと帰ってきた日本で

D男さんは旧満州からの引揚者。家族と離れ離れになったD男さんは昭和28年、17歳の時ようやく帰国できました。中国でも日本でも生きること必死で学校に通うどころではなかったと、辛かった半生を語ってくださいました。今も仕事を続けながら夜間学級に通うD男さんの苦勞には私の想像を超えたものがありました。



少人数学習で濃い学びの場

「字を書くことが喜びなんだ」と言うD男さん、繰り返し一所懸命に練習をしていた漢字の書体は、実に見事なものでした。

夜間学級には様々な半生を背景に持つ日本人や、苦学を続ける外国人が何人もいました。夜間学級に通う思い・動機はそれぞれようです。しかし、どなたの表情も充実感に満ちており、学ぶことの尊さを確信しているようでした。通級生の学ぶ姿から多くの事を教えられたひとときでした。

■問合せ先 川崎市総合教育センター夜間学級担当

☎044-844-3722



切り絵：武蔵小杉（生涯学習プラザ屋上から）



# 特集

# (財)川崎市生涯学習財団 設立20年



切り絵：初夏の渋川（法政三高付近）

1990年（平成2年）、(財)川崎市生涯学習振興事業団は、川崎市教育文化会館内で、市民の豊かな学習社会の構築をめざして産声を上げました。その後、(財)川崎市博物館振興財団と統合し、現 財団法人川崎市生涯学習財団として歩みを重ね、今年で設立以来20年を経過しました。今回の特集では、これまでの本財団の歩み、市民アカデミーとしての取り組みなどを振り返り、これからの生涯学習のあり方、進もうとする方向についてお示ししたいと思います。

## 財団のこれまで

### あゆみ ～現在に至るまでの20年間のあゆみ～

- ・1990年5月 神奈川県教育委員会から(財)川崎市生涯学習振興事業団として設立許可を受ける。
- ・同年11月 生涯学習情報誌Stage-Up第1号発行。
- ・1992年7月 地域間交流事業サマーキャンプ事業始まる。
- ・1993年4月 川崎市体育館、幸スポーツセンター、麻生スポーツセンター、石川記念武道館、青少年の家、八ヶ岳少年自然の家、黒川青少年野外活動センター、青少年創作センターの管理運営を受託する。
- ・同年10月 市民の継続的、専門的な学習機会として「かわさき市民アカデミー」を発足させる。
- ・1998年10月 神奈川県より労働福祉会館の委譲を受け、「川崎市生涯学習プラザ」の名称のもと、生涯学習の拠点として新たに出発する。
- ・2005年4月 (財)川崎市博物館振興財団との統合により、(財)川崎市生涯学習財団として再出発。
- ・2006年4月 指定管理者制度の導入に伴い、市民ミュージアム、日本民家園、青少年科学館、岡本太郎美術館が市の直営となる。市民ミュージアム内に学芸室を設置し、学芸業務を委託する。  
青少年の家、子ども夢パーク、宮前スポーツセンター、麻生スポーツセンター、大山街道ふるさと館の指定管理者として、その運営を開始する。
- ・2006年4月 NPO法人かわさき市民アカデミーが設立され、市民アカデミー事業の一部を移管する。
- ・2009年4月 指定管理者として川崎市有馬・野川生涯学習支援施設（アリーノ）の運営を開始。

### これまでに実施してきた事業

～時代とともに見直してきました～

- 学習事業  
かわさき市民アカデミー・出版、資格取得支援講座、芸術文化支援講座
- 学習情報事業  
教育人材センターの情報収集と提供、調査研究
- 青少年活動事業  
学校施設開放、遊びの広場
- 受託施設の管理運営  
博物館施設、新百合21ホール



## いま実施している事業

- ◆シニア活動支援事業  
生涯学習アドバイザー講座、シニア人材の登録・学校等への派遣 等
- ◆学習情報・相談事業  
ステージアップ・「かわさきの生涯学習（旧Kパル）」の発行、ホームページの充実、学習相談、人材ガイド作成・派遣 等
- ◆生涯学習推進事業  
生涯学習講演会・講座、NPO法人かわさき市民アカデミーとの協働、施設提供、市民自主学习支援、陶芸教室、健康・体力づくり教室 等
- ◆青少年活動事業  
地域間交流＝ふれあいサマーキャンプ、学校外活動＝キッズセミナー
- ◆受託事業等の運営  
指定管理施設受託事業、市民ミュージアム学芸業務・青少年創作活動振興事業、ふれあいネット「生涯学習情報」管理業務
- ◇公益財団法人化への準備



## 財団のこれから

### 共に学び、楽しみ、活動する豊かな生涯学習社会の実現のために

(財)川崎市生涯学習財団は、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図るため、教育、学術及び文化等に関する各種の事業を行うとともに、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与することを目指します。

### これからの財団としての使命 ～活力ある市民社会の創造に向けて～

・市民の学習や活動を支援  
・豊かな情報の発信

- ①まちづくり・医療・福祉・環境・教育などの行政施策と連動し、市民と行政の協力・連携の推進
- ②市民のだれもが、いつでもどこでも自主的に取り組めるような学習や活動の仕組みの構築
- ③豊かな経験や学習の成果を活かせる地域活動の支援、情報提供の推進
- ④NPOや市民ボランティアなど、自主・自立型活動の支援
- ⑤市民の学習活動を促進するための、施設提供の充実
- ⑥市民の生涯学習活動を推進する指定管理施設の運営・管理の充実、NPO等地域団体との協力による協働事業の推進

### 推進する主な事業

#### A シニア活動支援

- 市民アカデミー等におけるシニア世代の学習成果等を地域に還元するための場、ボランティア等をコーディネートする仕組みの効率化と充実

#### B 学習情報提供・施設提供

- 全市的な生涯学習情報誌として広報紙・インターネットホームページによる情報の提供
- ふれあいネットとの連携による学習情報の収集

#### C 多様な機関との連携による学習事業

- NPO法人かわさき市民アカデミー・学校関係NPO・地域のNPOとの連携・協働等各種講座・学校外活動の実施
- NPOとの共同による指定管理施設運営等、効果的・効率的な事業の展開

#### D その他の事業

- 川崎市生涯学習プラザの運営と学習事業の実施
- 川崎市市民ミュージアム学芸業務の受託
- ふれあいサマーキャンプの実施 など

■連絡・問合せ先■  
**(財)川崎市生涯学習財団**  
**(川崎市生涯学習プラザ)**  
 ☎044-733-5560  
 Eメール：stage-up@kpal.or.jp



# 施設めぐり

## 財団が管理運営する施設のご紹介

### 青少年の家

☎044 (888) 3588

URL <http://homepage3.nifty.com/seisyounen-ie/>

#### ～大勢の皆さんに利用していただける施設に～

2011年度もよちよち歩きの子から小・中・高校生まで幅広くご利用いただき、楽しみながら成果が上がるように催し物の充実を図ってまいります。

“よちよち歩きの子集まれ”では、おはなし会を年6回と3月にパネルシアター、5月には移動ミニ動物園、8月・12月には人形劇、夏はプールでの水遊び、11月は園庭の小さな畑の芋ほり&焼き芋大会などを企画します。

小学生の子どもたちには、放課後少しでも充実した時間が過ごせるようにと、おもしろ理科教室・造形教室・お筆であそぼっ!などの“放課後おもしろクラブ”があります。また、小学生から高校生までが青少年の家に1週間程宿泊し、寝食を共にする宿泊体験もあります。さらに、小学生や中学生が集う“エコチャレンジクラブ”を結成し、年3回の宿泊と日帰り9回、合計12回の活動で身近な環境について実験・実習・見学等をし、話し合い、考えを深めていきます。

催し物のご案内や募集は、ホームページやパンフレット等をご覧ください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



親子人形劇—すずな姫

### 有馬・野川生涯学習支援施設(アリーノ)

URL <http://www.arima-nogawa.jp/> ☎044 (853) 3737

オープンして3年目を迎えた当施設は、今年度“つなぐ・むすぶ・広げる”を合言葉にさらに利用者や地域の皆様方の利便性を図るよう努力してまいります。

新しい事業として、行政や有馬地域の福祉関係団体が連携して発足した『アリーノ福祉ネット』が本格的に動き出します。これは、福祉の当事者や家族、そしてそこに関わる人たちの交流をメインに、福祉の力が必要になったときの相談も目的にしています。第1回は、「高齢者のひとり暮らし」をテーマに開催します。

また、「地域の課題をみんなで考えていきたい」「こんな地域にしたい…」そんな思いを講座にいただき、費用や運営をアリーノが支援する『市民自主企画講座』（募集は4月末を予定）を始めます。

第4期のアリーノ文化講座は、地域の先生と学びたい人をつなぎ「プリザーブドフラワー（保存加工された花のアレンジ）」「コットン人形作り」「マクロビオテック（食生活法・食事療法）教室」などを5月に開催する予定です。

詳しくは、アリーノニュースやホームページなどをご覧ください。



### 子ども夢パーク

☎044 (811) 2001

URL <http://www.yumepark.net/>

川崎市子ども夢パークは、「川崎市子どもの権利に関する条例」に基づき、それを具現化するための施設として2003年7月にオープン致しました。

自分の責任で自由に遊び、ありのままにいられる場として、たき火や工具の使用、水遊びなどができるプレーパーク（冒険遊び場）やサイクリングロード・全天候型スポーツ広場・音楽スタジオ・ログハウス・乳幼児や障がいのある方が利用できる部屋「ゆるり」・本が置いてある部屋「ごろり」・学校外で多様に育ち学ぶ場としての「フリースペースえん」などがあります。

#### 【2011年度主なイベント予定】

- ドリームシンフォニー 6/5(日)  
歌や演奏、踊りなどの野外コンサート
- 夢パまつり祝8周年 7/18(月・祝)  
オープン記念イベント
- こどもゆめ横丁 11/6(日) 子どもたちによる商店街
- クリスマスイベント 12/23(金・祝)



- 初夢！新春イベント  
1/15(日) もちつき・どんど焼き・書き初め・昔遊び
- KUJIROCK 年3回  
スタジオ利用者のロックフェスティバル

### 大山街道ふるさと館

☎044 (813) 4705

URL <http://furusatokan.web5.jp/>

#### ～郷土への愛着と理解を深める諸事業の推進～

大山街道ふるさと館は、高津区役所と協同で、そして地域の多くの方々との協力を得ながら、さまざまな文化事業を行ってきました。

本年度は街道が生んだ歴史や文化の探求を通して、郷土に対する愛着と理解が深まるよう、諸事業を企画しています。また、特別企画である“子ども大山街道探検クラブ”の活動の充実と、来館者・利用者のニーズに応える「訪ねて楽しい大山街道」の冊子の編集を行います。

#### -----2011年度の主な事業-----

- 常設展 大山街道の歴史・民俗・自然に関する資料展示（通年）
- 企画展
  - ・ 地域が創出した文化展
  - ・ 郷土の地名に親しもう
- 趣味の作品展
- 文化講演会  
街道の歴史・文化・自然をめぐる講演会
- 郷土学習支援「ふるさと子ども出前授業」
- 郷土理解講座  
・ 街道学習講座 ・ 郷土発見・見学講座
- 子ども大山街道探検クラブ



財団主催の各種講座のご案内やお知らせ

情報ポケット

生涯学習プラザをご利用ください

生涯学習プラザは皆様の学習や文化活動を支援する生涯学習の場です。会議、研修、スポーツ、音楽、サークル活動などにご利用いただけます。

302多目的ルーム・402フィットネスルームは、下表のようにご利用になる月の3ヶ月前の最初の平日に抽選を行っています。また、会議室・活動室は3ヶ月前の抽選日の翌日(平日)の9時から予約を受け付けます。電話での仮予約も受け付けますが、その場合には仮予約後3日以内に当プラザにて手続きをお願いします。

抽選会日				一般予約開始日			
H23年	4月4日	月	(7月分抽選)	H23年	4月5日	火	(7月分)
	5月2日	月	(8月分抽選)		5月6日	金	(8月分)
	6月1日	水	(9月分抽選)		6月2日	木	(9月分)
	7月1日	金	(10月分抽選)		7月4日	月	(10月分)
	8月1日	月	(11月分抽選)		8月2日	火	(11月分)
	9月1日	木	(12月分抽選)		9月2日	金	(12月分)
	10月3日	月	(H24年1月分抽選)		10月4日	火	(H24年1月分)
	11月1日	火	(2月分抽選)		11月2日	水	(2月分)
	12月1日	木	(3月分抽選)		12月2日	金	(3月分)
H24年	1月5日	木	(4月分抽選)	H24年	1月6日	金	(4月分)
	2月1日	水	(5月分抽選)		2月2日	木	(5月分)
	3月1日	木	(6月分抽選)		3月2日	金	(6月分)

休館日、貸し館なしの日などの詳しい情報は、受付や電話でお問い合わせいただくか、ホームページやチラシをご覧ください。

《お問い合わせ》

〒211-0064  
 中原区今井南町514-1  
 生涯学習プラザ内  
 (財)川崎市生涯学習財団  
 総務室  
 電話 044 (733) 5560  
 FAX 044 (739) 0085

※プラザ利用の詳細についてはHP <http://www.kpal.or.jp> を開き、「生涯学習プラザ」の見出しの下にある項目から必要なものを検索してください。

パソコンセミナー受講生募集

講座名	開催日	受講料(円)
パソコンステップアップ	4/7(木)・8(金)	13,000
Word初級	4/14(木)・15(金)	13,000
Excel初級	4/21(木)・22(金)	13,000
Word活用	4/28(木)	5,000
Power Point	5/12(木)・13(金)	13,000

【会場】生涯学習プラザ 3階研修室  
 【受講時間】10:00~16:00 (昼休憩1時間)  
 【対象】18歳以上 定員各15人  
 【申し込み】

ハガキ・FAX・電話で受け付けます。  
 ハガキ・FAXの場合は、希望講座No.・〒・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・FAX番号・年齢・受講目的を記入してください。

《パソコン研修室をご利用ください》

事前にご利用団体の団体登録申請を行うことで、パソコンを備えた研修室をご利用いただけます。会社や各種団体の研修にご利用ください。パソコン16台設置。

パソコンの機種やソフトなど、詳しくはお問い合わせください。

午前 9:00~12:00	5,000円
午後13:00~17:00	6,000円
夜間17:30~21:00	7,000円
全日 9:00~21:00	18,000円

《申し込み・問い合わせ》

〒211-0064 中原区今井南町514-1  
 生涯学習プラザ内  
 (財)川崎市生涯学習財団 事業推進室  
 電話 044 (733) 5894  
 FAX 044 (733) 6697

あ と が き

◆3月5日、麻生市民館で行われた「里山フォーラムin麻生」、総合的な学習に取り組む小学生たちと地元住民との交流には目を見張りました。地域愛・文化の伝承……、「明日の川崎」への希望が膨らむ取り組みです◆西中原中学校夜間学級に通級する人たちの学びの背景を知り、胸を打たれました。そこには学びの本質がありました。若者たちにぜひ伝えたいと思いました◆直向きに生きる人たちの表情は、みな明るく生き生きとしています。

Kパル通信が生まれ変わります!!

5月1日号から表題が大きくなりデザインも変わります。ぜひお手に取ってみてください。(p8に詳細)

新しい表題(予定)

かわさきの

生涯学習情報





リニューアルのお知らせ

(財)川崎市生涯学習財団の情報

# Stage Up・Kパル通信・ホームページが 新しくなります!

6月号  
から

~全市的な生涯学習情報を提供します!!~

## “Stage Up” 学習情報提供を充実させます!

- 「施設めぐり」のページでは、指定管理施設情報のほか、他の市内公的施設情報も掲載。
- 「情報ポケット」の取材対象を拡張。

## ホームページタイトルが 「かわさきの生涯学習情報」に変わります!

- 本財団の情報発信にとどまらず、全市的な生涯学習情報を発信。
  - 市内生涯学習関連施設へのリンクを充実。
  - トップページの装いを一新。
- ※ホームページアドレスはこれまでどおりです。  
〈ホームページアドレス <http://www.kpal.or.jp/>〉

5月号  
から

Kパル通信も  
かわさきの

## 生涯学習情報

という名称に変わります!!

- これまでのA4判両面刷りの紙面が倍増。情報量が大幅アップ。
- 本財団及び指定管理施設の情報のほか、市の情報、他の公的施設や民間の生涯学習情報も合わせて掲載。
- 市民の幅広い活用を目指して、発行部数を増やし、ステージアップの配布先に準じるよう配布先も見直し。

## Stage Up・「かわさきの生涯学習情報」とも、インターネットでもご覧いただけます!

Stage Up・「かわさきの生涯学習情報」は区役所、市民館、図書館、行政サービスコーナー、川崎信用金庫全支店、横浜銀行（一部支店）、学校・こども文化センター、福祉パル、老人いこいの家などに置いてあります。Stage Upは偶数月の1日、Kパル通信は奇数月の1日に発行されます。ぜひ、ご覧ください。また、ご意見・ご要望がありましたらお寄せください!

Tel 044-733-5811 Fax 044-739-0085 メールアドレス [stage-up@kpal.or.jp](mailto:stage-up@kpal.or.jp)

POKKA 



レモンのかで  
キレイと元気。

